

2018年11月13日

これまでに内視鏡検査を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

筑波記念病院消化器内科では「AI（人工知能）による内視鏡画像自動診断（病変拾いあげ）システムの実証実験」という臨床研究を行っております。この研究は、AIを用いた内視鏡画像診断システムを開発し、人工知能がどれだけの精度とスピードを持って診断できるかを調べることを主な目的としています。そのため、過去に内視鏡検査を受けた患者さんのカルテ等のデータを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は筑波記念病院倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間

2018年11月13日 ～ 2020年3月31日まで

対象調査期間

2018年11月13日 ～ 2020年〇〇月〇〇日まで

- 今回の調査研究の対象はこれまでに内視鏡検査を受けた患者さんのカルテ、内視鏡写真です。
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は筑波記念病院に帰属し、あなたには帰属しません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

筑波記念病院 消化器科 副院長

研究責任者： 池澤和人

T E L : 029-864-1212(代) F A X : 029-864-8135